

動物実験終了報告書

令和 年 月 日 提出

国立感染症研究所 所長 殿

[承認番号] _____

[実験課題名] _____

の動物実験計画書に記載された動物実験は、下記のとおり終了致しました。

実験終了年月日	令和 年 月 日				
A. 承認された動物数と当該年度に終了した動物数 <small>(系統毎の匹数、複数年に及ぶ場合は年度毎および実験を通しての総数)</small>		動物種	系統名	当該年度に承認された実験の総匹数	当該年度に終了した実験の総匹数
	令和 年度				()*
	令和 年度				()*
	令和 年度				()*
	全計画を通しての動物数			/	()*
	最終年度末に実験中の動物数**			/	
<small>* () 内には生産業者が提供する予備動物で実験に使用せずに殺処分、または、自家繁殖において離乳後使用せずに殺処分した動物数（該当する動物がいなければ「0」）を記入する。 **3年経過に伴う新規の計画書を提出する場合のみ、最終年度末に実験中の動物数（いなければ0）を系統別に記載する。</small>					
B. 実験実施の状況 <small>(実際の状況は貴重なデータとなるため、状況説明をして下さい。)</small>	<input type="checkbox"/> 計画書どおりに実験を行った <input type="checkbox"/> 計画書と実験実施内容に相違があった：状況説明 <input type="checkbox"/> 実験を行わなかった：行わなかった理由				
C. 実験結果の概要 <small>(十分な結果が得られなかった場合に考えられる要因、検定・検査が中止となった経緯等も記載して下さい。)</small>					
D. 苦痛のカテゴリーの判断は適切であったか <small>(実際の状況は貴重なデータとなるため、状況説明をして下さい。)</small> <small>実験を行わなかった場合、この欄の記入は不要です。</small>	<input type="checkbox"/> 適切（予測とほぼ一致していた） <input type="checkbox"/> 予測と異なっていた：状況説明 計画書I欄で苦痛のカテゴリーDと判断した実験を <input type="checkbox"/> 実施した（以下に記載してください） <input type="checkbox"/> 実施しなかった ・設定した人道的エンドポイント： <input type="checkbox"/> 計画書通り <input type="checkbox"/> 計画書から変更：変更内容 ・人道的エンドポイントを適用し、安楽死処分した動物数： ・人道的エンドポイントを適用できずに死に至った動物数：				

E. 動物実験による 成果	
------------------	--

(予定を含む学会発表、
論文発表、知財申請等に
ついて記載して下さい。)

本動物実験は国立感染症研究所動物実験実施細則に則って行いました。

実験責任者： 国立感染症研究所 国立国際医療研究所

[所属] _____ [氏名] _____

[E-mail] _____